

国語採点基準

(総点100点)

- 〔注意〕
- この配点は、標準的な配点を示したものである。
 - 定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
 - 指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
 - 定められた数より多く答えたときは、点を与えない。
 - 採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

問題	正	答	配	点
1	1	(1) わやく	2	30
		(2) ついです	2	
		(3) けいしゃ	2	
		(4) はあく	2	
		(5) おこえ(かな)	2	
	2	(1) 泳(ぐ)	2	
		(2) 飼音	2	
		(3) 屈(く)	2	
		(4) 警備	2	
		(5) 複雑	2	
	3	(1) ア	2	
		(2) エ	2	
		(3) イ	2	
		(4) エ	2	
		(5) ウ	2	
2	1	あわれ	2	10
	2	イ	2	
	3	ア	2	
	4	(例) 病人の鏡を八功德水で磨き、改めて病人に鏡を見せ、病を治す という方法。	2	
	5	ウ	2	
3	1	ウ	3	20
	2	(例) 人間もまた 自然の生命を取り入れて自己の生命を持続させ、死ぬと自然に戻るという循環の一部であるということ。	4	
	3	イ	3	
	4	(例) 群れを作りコミュニティを形成し、互いが役割を果たし協力し合うことで築かれた。	4	
	5	ア	3	
4	1	ウ	3	20
	2	エ	3	
	3	ア	3	
	4	(例) 一生懸命にお百度参りをしていたこと。	4	
	5	もう、それ、なかつた。	4	
	6	イ	3	
5	(評価の観点)		20	/
	1	形式 目的に応じた適切な叙述であるか。字数が条件に合っているか。		
	2	内容 テーマに対して、自分の体験を踏まえているか。また自分の考えとその理由が明確に表現されているか。		
	3	表現・表記 文体に統一性や妥当性があるか。主述関係や係り受けなどが適切であるか。語句が適切に使用されているか。誤字・脱字がないか。		
※ これらの項目に照らし、各学校の実態に即して総合的に評価するものとする。				